

公立大学法人 神戸市看護大学 2019年度 年度計画の概要

社会的ニーズに対応した幅広い能力を持つ、看護人材の育成のための取り組み

第1期中期計画（2019～2024年度）

1. 入学者選抜及び学部教育

(1) 優秀な学生の確保

- ・ 入学者受入れ・選抜方法の継続的な見直し、入試データの蓄積・分析に基づく広報活動の強化

(2) 教育方法・内容

- ・ 科学的思考、看護人材に必要な倫理観や対人関係能力を育成するための教育の実施
- ・ 新しい政策課題に対応できる看護人材に必要な語学教育、情報系科目の充実、災害教育の充実・強化
- ・ 地域包括ケアシステムを体系的に学ぶカリキュラムの編成
- ・ 急性期医療から在宅医療まで対応した大学教育と看護実践の現場が連動する実習体制の構築

2. 大学院教育

(1) 優秀な学生の確保

- ・ 看護職者、他分野で経験を有する社会人など多様な人材の積極的な受入れ

(2) 教育方法・内容

- ・ 総合的な能力を養成する共通カリキュラムの編成、複数教員による指導、研究支援体制の強化
- ・ 社会人の要請に沿った教育課程の見直し、就業、学業を両立できる教育課程の充実
- ・ 地域の保健課題の解決、政策提案など、より高度な実践・研究能力を持つ人材の育成の充実

3. 学生への支援

(1) 全学的な学修支援体制の整備

- ・ 全学的な支援体制の充実、学生の自主的な課外活動に対する支援
- ・ 学生の自主学修に適した図書館、実習室等の環境の整備

(2) 特別な配慮を要する学生への学修支援の強化

- ・ 早期、予防的な指導体制の充実、指導教員と連携した支援

(3) 生活面、健康面及び経済面の支援

- ・ 教員、職員、保健室職員、カウンセラーなど他職種による生活支援体制の充実
- ・ 「学生支援基金」創設の検討

(4) 就職・キャリア支援

- ・ 看護師、保健師、助産師の国家試験合格率100%の達成
- ・ 市内受験生、市内就職者に対するインセンティブを検討
- ・ シミュレーションセンターの活用を含めた生涯学習センター（仮）設置の検討

2019年度 年度計画

1. 入学者選抜及び学部教育

(1) 優秀な学生の確保

- ・ 編入学・2023年度以降の入試の検討、効果的な入試広報の検討、地域の高校との情報交換

(2) 教育方法・内容

- ・ 新設科目・改正カリキュラムの評価
- ・ 教養・専門教育、分野・領域間相互に教育内容の連携強化、到達目標の確認
- ・ 英語を母語とする専任教員による英語学習の充実、海外研修参加者への語学サポート
- ・ 情報処理演習におけるティーチング・アシスタント配置
- ・ 地域包括ケアシステムの関連科目調査
- ・ 市民病院群、実習施設等の看護職、地域住民の協力による講義・演習の継続

2. 大学院教育

(1) 優秀な学生の確保

- ・ 他大学大学院の入学定員及び保健・医療現場のニーズ等の情報収集
- ・ 成績優秀者へのインセンティブ方策の調査

(2) 教育方法・内容

- ・ 演習・臨地実習の強化、専門学会への参加、学外講師による特別講演会の開催
- ・ 定期的な博士論文進捗状況報告会、研究計画書発表会等の開催
- ・ 英語を母語とする専任教員による国際学会発表・英語論文作成支援の充実
- ・ 国際学会発表・参加奨励制度の導入
- ・ 社会人学生向けのICTを活用したWeb授業導入に向けた情報収集
- ・ 他大学の公衆衛生看護学・保健師教育の状況調査等による学部・大学院教育の方向性の検討

3. 学生への支援

(1) 全学的な学修支援体制の整備

- ・ 学習支援が必要な学生の洗い出し、担任等による相談指導、オフィスアワーの設定
- ・ メンター制度の調査、実施方法等の検討

(2) 特別な配慮を要する学生への学修支援の強化

- ・ 教職員を対象としたFD研修会の実施
- ・ 再履修学生に対する教務委員会、担任、学務係が連携し個々の状況に応じた支援

(3) 生活面、健康面及び経済面の支援

- ・ 保健室、心理カウンセラー、学生委員会、担任・指導教員の連携、情報共有による支援
- ・ 他大学の独自基金の設置状況の調査

(4) 就職・キャリア支援

- ・ 国家試験対策に関する卒業生の体験談報告会、担任制度による学習方法等の相談期間の設置
- ・ 卒業生との情報交換の機会設置、個別面談の実施、同窓会との連携
- ・ 市内就職促進に向けた他都市調査及び神戸市民病院機構との連絡調整
- ・ シミュレーションルームの機器及び環境の整備、生涯学習センターに必要な機能等の調査

学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による大学ブランドの確立

第1期中期計画（2019～2024年度）

1 地域課題の解決や健康創造都市戦略等を担う、学術研究の推進

(1)神戸市と地域に貢献する研究の推進

- ・神戸市の政策課題に寄与する研究の推進
- ・医療産業都市参画企業等との科学研究費等を活用した地域の課題解決に寄与する共同研究等の推進
- ・地域の課題解決に資する研究や中央市民病院等との臨床共同研究の推進

(2)研究活動推進のための支援

- ・全学的な研究活動の推進のため、研究交流の場の拡充、研究支援センターの設置検討

(3)研究倫理の確保

- ・法令遵守、研究倫理の普及、研究不正防止の推進、倫理審査の定期的な実施

(4)研究成果の発信

- ・学内の研究成果のオープンアクセス化の促進など迅速かつ幅広い情報の発信

2 市民との連携・交流による、地域の保健医療への貢献の推進

(1)地域と連携した教育研究活動等

- ・地域の医療機関、福祉施設等で地域包括ケアを実体験できる実習体制の整備
- ・地域団体との連携、災害看護訓練の強化や地域の新たなニーズへの対応の検討

(2)市民との交流促進

- ・公開講座、参加型教育プログラムによる研究成果の市民への還元、神戸市の政策課題に寄与

(3)地域の看護人材の供給

- ・卒業生、地域の看護職の就業継続に向けた研修会、キャリア発達に向けた相談の実施
- ・地域の看護職者の資質向上、定着促進に向けた教育プログラムの開発、提供
- ・看護職者の定着支援策の検討、復職支援プログラムの開発・提供

3 グローバルな視点を培う、国際交流の推進

(1)外国人の受入れ

- ・留学生の受入れの推進、医療・介護分野の外国人のキャリア開発のための実務研修会の開催

(2)学生の異文化理解の推進

- ・海外研修、留学生との交流等を通じた異文化理解の促進、短期留学を含む海外留学の推進

(3)海外の大学との交流の推進

- ・海外の大学との共同研究と新たな大学との協定の締結、学術交流の推進

2019年度 年度計画

1 地域課題の解決や健康創造都市戦略等を担う、学術研究の推進

(1)神戸市と地域に貢献する研究の推進

- ・市の政策課題に関する共同研究への応募、情報交換の検討会の設置検討
- ・産官学連携に向けた情報収集、共同研究の検討、資金獲得に関する情報収集
- ・市の政策と研究課題に関する説明会の開催、次年度の重点研究課題の検討

(2)研究活動推進のための支援

- ・科学研究費等の競争資金獲得に向けた情報提供・支援、研究費マニュアルの改編
- ・外部資金に関する情報の提供、資金獲得に向けた支援
- ・ランチョンセミナー開催等による教員間の研究交流
- ・研究支援センター設置に必要な人材、業務内容に関する情報収集

(3)研究倫理の確保

- ・不正防止に向けたコンプライアンス研修の実施
- ・実践報告の導入に向けた審査方法、審査基準、審査指針の見直し検討

(4)研究成果の発信

- ・紀要発行に向けた適切なサポート、リポジトリの積極的活用の検討

2 市民との連携・交流による、地域の保健医療への貢献の推進

(1)地域と連携した教育研究活動等

- ・訪問看護に関する教育研究の拠点のあり方の検討
- ・これまでの地域貢献事業の成果の総括・検証

(2)市民との交流促進

- ・課題解決に向けた市民公開講座の検討実施
- ・地域の交流事業への学生・教職員のボランティア参加、地域住民との交流

(3)地域の看護人材の供給

- ・卒業生への就業継続やキャリア開発に向けた相談
- ・市民病院群等の看護職者への聴講制度の実施
- ・地域の看護職者のニーズに応じた人材育成の講座等の開催
- ・県看護協会、神戸市民病院機構と連携し、看護職者の定着支援方策、復職支援プログラムの検討

3 グローバルな視点を培う、国際交流の推進

(1)外国人の受入れ

- ・英語を母語とする専任教員の配置、留学生受入れに関する近隣大学の調査

(2)学生の異文化理解の推進

- ・海外看護学研修、特別講演会等を通じた異文化体験、海外留学への動機づけ

(3)海外の大学との交流の推進

- ・国際共同研究支援策の検討、在外研究受入れ先大学等との共同研究の可能性の探求

業務運営及び財務内容の改善

第1期中期計画（2019～2024年度）

1 効率的で機動的な組織運営体制を構築し、地域の発展に貢献する大学へ

(1) 効率的で機動的な組織運営体制の構築

- ・ 理事長・学長のリーダーシップのもと効率的で機動的な組織体制の整備
- ・ 新たな取組みを検討実施するための組織の設置
- ・ 情報を一元的に集約、戦略的な分析による法人・大学運営の改善

(2) 開かれた大学運営の推進

- ・ 理事会、審議会等の外部有識者からの意見の積極的な取り入れ

(3) 教育研究組織の見直し

- ・ 法人運営体制、教育研究組織を常に検証し必要な見直しを図る

2 優れた教職員の確保育成及び特性を生かす人事・組織制度の構築

(1) 多様な人材の確保と教職員の能力向上

- ・ 最適な人員配置の実施、人材育成計画の策定

(2) 教育連携の推進

- ・ 単位互換制度など学外の教育資源の活用

(3) 外部人材の活用

- ・ 客員教授、実習施設の人材登用など外部人材の積極的な登用

(4) 人事評価制度の再構築等

- ・ 人事評価制度の充実、給与や研究費への反映を検討
- ・ 柔軟で弾力的な人事制度の継続的な検討

3 教育環境の整備・充実

- ・ 実習設備の充実及び効果的な運用
- ・ 長期保全計画に基づく計画的な改善、機能の維持向上
- ・ ICTを活用した効果的な授業や実習指導を行うための教育環境の充実

4 自己点検・評価による質の改善、情報公開による透明性の確保

(1) 自己点検・評価体制の強化

- ・ 自己点検評価等の結果の公開、組織体制の見直し、業務執行方法の改善
- ・ 学生による授業評価の組織的な教育活動の改善への活用

(2) 情報公開及び情報管理

- ・ 教育研究活動、経営状況等の積極的な公開、情報資産、個人情報の適正管理

2019年度 年度計画

1 効率的で機動的な組織運営体制を構築し、地域の発展に貢献する大学へ

(1) 効率的で機動的な組織運営体制の構築

- ・ 理事会、各種審議会の設置、既存委員会の役割の見直し・再編
- ・ 中期計画の着実な実行に向け企画戦略室を設置、入試・就職等の情報の効果的な分析の検討
- ・ 内部監査室の設置、内部監査の実施

(2) 開かれた大学運営の推進

- ・ 理事会、審議会に外部理事・委員を登用し、意見を大学運営に反映

(3) 教育研究組織の見直し

- ・ 自己点検評価等で教育研究組織を検証し、必要な見直しを検討

2 優れた教職員の確保育成及び特性を生かす人事・組織制度の構築

(1) 多様な人材の確保と教職員の能力向上

- ・ 人事委員会の設置、教員採用基準、方針の検討、客員教授制度の検討

(2) 教育連携の推進

- ・ 近隣大学、UNITYの単位互換制度の課題整理、見直しの検証

(3) 外部人材の活用

- ・ 客員教授等外部人材の検討、臨床実習体制の強化に向けた実習施設への調査

(4) 人事評価制度の再構築等

- ・ 教員の新たな人事評価制度の検討
- ・ 業務内容に応じた最適な職員の採用

3 教育環境の整備・充実

- ・ シミュレーション教育の充実に向けた機器・ソフト等の整備、更新計画の策定
- ・ 長期保全計画の策定
- ・ アクティブラーニング等の実施に向けた教育環境の検討
- ・ 学務システム、学内LAN、図書館、財務会計システムを束ねる仮想サーバー構築の検討

4 自己点検・評価による質の改善、情報公開による透明性の確保

(1) 自己点検・評価体制の強化

- ・ 評価結果の公表に向け法人情報提供の枠組みの整備、評価結果の次年度計画への反映の検討
- ・ 学生授業評価を組織的な教育改善に活用する方策の情報収集

(2) 情報公開及び情報管理

- ・ 入試情報、法人情報等大学運営状況の積極的な公開
- ・ セキュリティ対策基準の策定
- ・ 関連データ構築、広報、情報管理業務に関する専門職員の配置検討

業務運営及び財務内容の改善

第1期中期計画（2019～2024年度）

5 心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止

(1)健康管理和安全対策

- ・ 学生・教職員の安全確保、健康管理の推進、危機管理訓練、講習会の実施

(2)人権尊重

- ・ 人権侵害に関する強化やハラスメント対策、コンプライアンス研修の実施

6 多様な自己収入の確保・充実と経費の適正化

(1)外部資金の獲得

- ・ 競争的資金、受託事業の獲得、多様な資金確保の検討

(2)学生納付金等

- ・ 学生の利便性を高める納付方法の検討

(3)多様な収入の確保

- ・ 学内施設の有償化、公開講座受講料等の適正な設定
- ・ 「学生支援基金」創設の検討（再掲）

(4)業務の改善と経費の適正化

- ・ 外部委託、ICTの活用等による経費の適正化
- ・ 簡素な事務局組織の編成と業務執行

2019年度 年度計画

5 心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止

(1)健康管理和安全対策

- ・ 定期的な安全点検の実施、教職員・学生の健康管理の推進
- ・ 防災計画の策定、防火・防災訓練の実施

(2)人権尊重

- ・ 学生へのリーフレット配布、相談窓口の周知
- ・ 倫理、コンプライアンス、ハラスメント防止研修の実施

6 多様な自己収入の確保・充実と経費の適正化

(1)外部資金の獲得

- ・ 科学研究費獲得に向けた説明会の実施、客員教授等外部人材の活用の検討

(2)学生納付金等

- ・ 学生納付金、納付方法、修学資金貸与制度に関する他大学の状況調査

(3)多様な収入の確保

- ・ 学内施設の有償化、公開講座受講料等の検討
- ・ 他大学の独自基金の設置状況の調査

(4)業務の改善と経費の適正化

- ・ 事務事業の見直し、システム化、外部委託への移行の検討
- ・ 新たな事務、権限を各種規程や組織で明確化